

農地中間管理事業に係る担い手農業者等との意見交換の結果について

平成31年3月31日
 (公社)神奈川県農業公社

番号	開催日	参加者の概要等	主な意見	結果及び意見を踏まえた改善点
1	H30.6.26	横浜市東俣野中部かん水組合総会 参加人数:20名	<p><農地耕作条件改善事業導入に伴い、中間管理事業の重点実施地区の指定予定である東俣野中部かん水組合の総会にて、組合員に中間管理事業について説明></p> <p>○国庫補助事業の導入にあたり、担い手への農地集積の目標面積はどのくらいか。 ○組合や市が目標達成のために行う取組は。 ○利用権設定期間終了後の更新時には農地中間管理事業に移行するのか。</p>	<p><横浜市> ○地区概要、農地耕作条件改善事業の概要、事業に関する経過等について説明。 ○質問に対する回答。</p> <p><機構> ○中間管理事業の手続きの流れ(出し手、受け手)、借受希望者の募集、利用状況報告等について説明。 ○横浜市内の他地区の事例について紹介。</p>
2	H30.8.7	湘南地区農業委員会連合会(新任農業委員・農地利用最適化推進委員基礎研修会) 参加人数:70名	<p><農地中間管理事業の制度説明と農地利用最適化推進委員の連携について></p> <p>○事業が農業振興地域に限定されている理由は? ○売買事業の手数料について(売り手4%、買い手2%の差は何か?) ○農地中間管理事業を活用した農地に看板を立て事業をPRしたら、周囲に活用が拡大するのではないか。</p>	<p>○法律に明記されている。(国補助金の対象は原則農振地域に限定するとの国の考え方) 5年見直しの機会であり、意見は国に伝える。 ○買い手の事業促進を図るため2%軽減している。その分、県が2%上乘せ補助している。 ○看板については検討する。</p>
3	H30.8.8	愛川町(水利組合)事業説明 参加人数:6名	<p><水利組合が管理している約1.1haの農地について他市の担い手が機構事業により借り受たいとの情報があり、事業制度等について水利組合長ほか役員に説明した。></p> <p>○貸付希望申出書の記載について ○期間、賃料等について ○公道に接しないので、進入路の扱いについて ○受け手の要件について</p>	<p><内容確認> ○土地所有者20名、55筆、1.1ha。 ○貸付希望申出書は個々で記載し、町が地番・面積等を確認する。</p> <p>○平成30年12月11日 借受希望者と水利組合の期間・賃料等の打合せ ○平成31年1月 利用権設定の書類調印 ○平成31年3月 農業委員会総会</p>

農地中間管理事業に係る担い手農業者等との意見交換の結果について

平成31年3月31日
 (公社)神奈川県農業公社

番号	開催日	参加者の概要等	主な意見	結果及び意見を踏まえた改善点
4	H30.8.28	横浜市東方北部土地改良区理事会 参加人数:25名	<p><農地耕作条件改善事業導入に伴い、中間管理事業の重点実施地区の指定予定である東方北部土地改良区の理事会にて、組合員に中間管理事業について説明></p> <p>○国庫補助事業の導入にあたり、担い手への農地集積の目標面積はどのくらいか。 ○改良区や市が目標達成のために行う取組は。 ○利用権設定期間終了後の更新時には農地中間管理事業に移行するのか。</p>	<p><横浜市> ○地区概要、農地耕作条件改善事業の概要、事業に関する経過等について説明。 ○質問に対する回答。</p> <p><機構> ○中間管理事業の手続きの流れ(出し手、受け手)、借受希望者の募集、利用状況報告等について説明。 ○横浜市内の他地区の事例について紹介。</p>
5	H31.2.28	開成町人・農地プラン座談会 参加人数:40名	<p><開成町産業振興課から、人・農地プランに係る農家意向のアンケート結果を農家に報告するとともに、人・農地プランの見直し(案)と今後の取組について説明。併せて機構から農地中間管理事業について説明した。></p> <p>○委託した農地の管理が不十分なところがある。管理について最低限のルールを作っておかなくてはいけない。苦情はどこに言ったらよいのか？ ○管理について、「農地を守る会」(多面的機能奨励金を活用している団体)を活用するのはどうか。 ○貸した農地で、草刈りで境界杭がなくなった場合はどうすればよいのか？</p>	<p><人・農地プランの実質化に向けた話合いの結果として、マッチングのツールとして農地中間管理事業を活用してもらいたい旨を説明した。></p> <p><町> ○相談は町に、現地を確認する。 ○今後の取組み ・農地の出し手の再調査、中心経営体への再調査、農地利用図の作成</p> <p><機構> ○開成町で4ha程度の機構活用実績を紹介し、事業活用のメリットを説明した。 ○開成町の人・農地プランの取組みを評価し、今後、農地の地図化など実質化に向けた話合いの結果として機構事業の活用を推進した。</p>

農地中間管理事業に係る担い手農業者等との意見交換の結果について

平成31年3月31日
 (公社)神奈川県農業公社

番号	開催日	参加者の概要等	主な意見	結果及び意見を踏まえた改善点
6	H31.3.11	大磯町 生沢地域の農地利活用促進地域座談会 参加人数:25名	<1ha程度の農地流動化が見込めることから、事業を活用して(出来れば協力金を受けて)集積を進めたい> ○農地中間管理事業制度について ・農地を貸したい方、借りたい方の申出手続き ○農地中間管理事業に関連する農地整備事業について ・事業主体、地域の合意形成の進め方 ○機構集積協力金について ・「人・農地プラン」の地域設定、実質化に向けた取組	<地域の農業委員が中心となって合意形成を図るスタート段階> ○パンフレットにより事業制度、手続きについて説明するとともに、質問に対して実施事例を説明した。 ○農水省の資料により農地耕作条件改善事業について説明するとともに、県内での実施事例を紹介した。 ○農水省及び県の資料により機構集積協力金について説明するとともに、県内での実施事例を紹介した。